

わたしたちの

東栄町

とう
えい



愛知県の北東部に位置する東栄町は、
面積の90%以上を山林に囲まれた
自然と共に生きるまち。

七〇〇年の歴史を繋ぐ花祭。
一面に広がる満天の星。
透きとおった川の流れ。

町民一人ひとりが思い描く様々な魅力。
その一つひとつをさらに輝かせ、
未来を担う子どもたち、
東栄町で暮らす人たち、
これから東栄町への定住を考える人へ
伝えていきます。



INDEX

| | |
|---------------------|----|
| 花祭 | 04 |
| 受け継がれる伝統・歴史 | 06 |
| ありのままの自然 | 08 |
| いきいきとした暮らし | 10 |
| 自然と共生する産業・特産品 | 12 |
| 東栄町で暮らす人 | 14 |
| 東栄町の魅力は？ | 16 |
| 幸せを実感できる最先端の田舎をめざして | 17 |
| 東栄町イラストマップ | 18 |



発刊にあたって

東栄町では、「山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里」を将来像とし、「まちづくりの主役は住民」という考えのもと、町民皆様と力を結集し、ふるさとに誇りと愛着が持てる町の実現に向けて取り組んでいます。

今回作成した町勢要覧では、豊かな自然環境、国の重要無形民俗文化財の花祭をはじめとする歴史や伝統文化、住民の温かく素朴な人柄など、本町の魅力を町民の皆様とともに紹介しています。こうした魅力や特色を活かしながら、子育て世帯を後押しする施策、移住・定住を図る施策などを展開し、このまちを住みやすいと感じ、今後も住み続けたい、訪れたいと思えるまちづくりを進めていきます。

この要覧が本町をご理解いただく一助として、ご高覧いただければ幸いです。

東栄町長 村上 孝治



花 夕祭




全国的に有名なお祭りだよ



毎年11月から3月にかけて町内11カ所で開催される「花祭」。国の重要無形民俗文化財にも指定されている「花祭」は、冬になって太陽の力が弱まり、大地に沁み込んだ精霊たちの復活を願う目的で、鎌倉時代から代々親から子、子から孫へと大切に伝承されてきた神事です。約40種類の舞が夜を徹して繰り広げられ、「テホホへ、テホへ」の声とともに舞手と観客が一体となって盛り上がります。

七〇〇年の歴史を受け継ぐ

伝

 Interview 〈3世代で伝統を守る〉

花祭が大好きだからこそ、次世代に伝え続けたい。





- 1 御園地区
- 2 月地区
- 3 下粟代地区
- 4 古戸地区
- 5 小林地区
- 6 河内地区
- 7 東園目地区
- 8 中在家地区
- 9 足込地区
- 10 中設楽地区
- 11 布川地区



2



3



4



5



6



8



9



10



11

東

栄町には地区ごとで花祭に特徴があり、大野さんご家族が住む東園目(ひがしそのめ)では、大入系独特の舞が堪能できたり、演目にはプロの和太鼓集団「志多ら」との共演も行われる。子どもの頃から花祭が身近にある地域だからこそ、肇さんの3人のお子さまも自然に花祭へ参加した。「子どもたちのきっかけとしては、自分の友達が練習会場にいるからみんなで遊べるという感覚だと思います。親から無理矢理やらされている感覚ではなく、自然に自分たちから楽しく祭りに参加していました」と肇さん。自身も40年以上参加し続け、約4年前から地区の副総代として若手育成にも力を入れている。「直接みんなを指導するというより、若手を育てて、次世代に舞を受け継ぐための指導をしています。舞は約40種類以上あり、その中でも基本的な動きに加え複雑な動きがたくさんあるため、細かい部分は“言葉”で伝えることが重要。先祖代々、その言葉を伝承し花祭を続けることが、今の私たちの使命です」と話してくれた。祭りの時期になると、親子3代で練習に参加し、家の中が祭り一色になるそう。暮らしの中に「花祭」があり、親から子へ、子から孫へと伝承されていく。



大野 温人さん(75歳)・肇さん(46歳)
東栄町在住



左から順に
美田さん・小麦さん・穂邦くん
(11歳) (14歳) (6歳)

東園目(ひがしそのめ)地区で、親子3世代花祭に参加。毎月11月中旬になると、花祭の練習が始まり、家族みんなで練習に参加している。

受け継がれる伝統・歴史



伝統を
さらに輝かせ
未来に伝える

東栄町には、先人の築き上げてきた伝統芸能や祭り、貴重な文化遺産が数多く残っています。これらは人々の手によって脈々と受け継がれ、私たちの誇りであり大切な財産となっています。

1 念仏踊り・手踊り (町指定無形民俗文化財)

お盆になると、鉦や太鼓の音に合わせて踊るハネコミや、東栄町を発祥の地とする「おさま甚句」などの盆唄に合わせて踊る手踊りが各地区で行われます。

2 設楽城跡 (県指定史跡)

鎌倉時代初期に設楽氏の居城であったとされる山城で、敵の侵攻を防ぐ堀切や土塁が今も残っています。

3 手筒花火

東三河に伝わる手筒花火は、五穀豊穡や無病息災を祈り、火の粉を浴びながら上げる迫力満点の花火です。

4 しかうち行事 (県指定無形民俗文化財)

草木でかたどったシカやイノシシを弓矢で射ることで、獣害の追放を願う農民の信仰から生まれた行事です。

5 百万遍

粟日待と風除け信心が習合したものと言われ、念仏を唱えながら数珠を廻します。一枚が一万遍の勘定の板を使って廻した数を数え、百万遍になるまで続けられます。

6 白山祭り

山頂の神社で行われる祭典。地元ではこの祭りの「お珠の舞」が奉納されてからでないと言われ、花祭りの起源とされています。

伝統に
触れてみよう!



2



6



3



7



9



4



5



8

7 綾杉 (県指定天然記念物)
「須佐之男神社」の御神木で、樹齢400年以上と言われる杉の木です。

8 ポットホール
(県指定天然記念物)
岩盤のくぼみに入った石が水流によって回転してできた穴で、長い年月の間に自然が作りだした造形物です。

9 さいの神
(県指定有形民俗文化財)
町内のあちこちで見られる「さいの神」は、村境に立ち、疫病や災いから村人を守る守り神として信仰されてきました。

私が紹介します!



太夫(祭祀者)
佐々木 経人さん

伝統を絶やさないために

この町には、花祭をはじめとし、多くの民族文化が伝承されています。そうした昔から言い伝えられてきた貴重な文化遺産を次の世代につなげていくことが私の役目であると、強い思いを持って祭りに携わっています。今ある形を一つひとつ伝えていくためには、暮らしのかたわら1年中祭りのことを考えたりと大変な苦勞もありますが、伝統を絶やさないために、華やかな舞台の裏ではそうした努力がそれぞれの地域でなされています。

ありのままの自然



自然が織りなす溪谷美

面積の90%以上を山林と原野が占め、700mから1,000m級の山々の間を大千瀬川などの清流が流れています。県立自然公園と天竜奥三河国定公園の指定を受けており、美しい山岳溪谷の景色が広がっています。夏には鮎釣り大会が開かれたり、涼を求めて川辺で遊ぶ光景が多くみられます。



鳶の淵(町指定名勝)

「奥三河のナイアガラ」の異名を持つ大滝。滝壺の底は竜宮へつながっているという「竜神伝説」が伝えられています。

私が紹介します!



振草川漁業協同組合
組合長
和合 克美さん

自慢の美しい川を守り、 振草川の鮎を観光にもつなげたい

東栄町の川は水がキレイで、鮎の好む良質なコケができるため、香りのいい鮎が育つのが特徴です。昔から振草川の鮎と言えば最高と言われ、多くの釣りが自慢の鮎を求めて訪れます。天候や鮎の感染症などで難しいところもありますが、これからも多くの人が遊びに来てくれるよう、東栄町の川を守ってまいります。



振草川の鮎

香りがよく、美形の振草川の鮎は、全国の河川の鮎の味や香りを競う「清流めぐり利き鮎会」でも高く評価され、準グランプリを2度獲得しています。



明神山(町指定名勝)

標高1,016mで町内最高峰の山。ハイキングコースとしても人気で、頂上からは運がよければ富士山も見えます。

日生のふる里

自然



星が近くて
つかめそうだよ★



満点の星空が広がる

周囲を山に囲まれ、空気の澄んだこの町では、全国屈指の満点の星が望めます。都会ではなかなか見られない星空も、ここに来ればまるで別世界。その一面の星空に圧倒されること間違いなしです。

ホタルの里

キレイな水が流れる東栄町では、夏の夜には川沿いでホタルを見ることができます。山に光るホタルは天然のイルミネーションのよう。空にきらめく星と、地上で乱舞する蛍の光の共演が見られるのはここ東栄町ならではの光景です。



私が紹介します!



スターフォーレスト御園
職員
藤田 康仁さん

星とともに歩む

都市部ではあまり見られなくなってしまった山里の風景が東栄町には残っています。星空もその一つ。スターフォーレスト御園では、条件さえ揃えば、今でも迫力ある天の川が見られます。この星空を眺めれば、普段の生活でどれだけ明かりを使っているかを知ることができるでしょう。星を守ることは、ひいては環境を守ることに繋がります。私たちは、「夜の暗さ」を発信し続けます。

スターフォーレスト御園



標高650mの高地にある御園の天文台は、絶好のスターウォッチングポイントです。プラネタリウムや口径60cmの大型望遠鏡などの豊富な機材を用いて天体観察や星空探訪を満喫できます。

いきいきとした暮らし



おいでん家

支え合って暮らすまち



笑顔があふれるまち
東栄町♪

毎日をいきいきと、子どもからお年寄りまでが安心して健康に暮らせることが町民みんなの願いです。東栄町では、人と人がふれあい、互いに支え合いながら、子育てや健康福祉に取り組んでいます。

安心して子どもを産み、育てられるよう、子育て支援センターでは、親子が集い情報交換できる場を提供しています。また、高齢者などだれもが気軽に集まることのできる「おいでん家」を町内各所に設け、住民同士の交流を促進し、生きがいくりの場としています。さらに、住民の心と体の健康を守るために、保健・医療・福祉が連携し、様々な健康づくりに取り組んでいます。



子育て支援センター「にこにこ広場」



ロココンテア(ロコモ予防・認知症予防体操)

私が紹介します!

子どもに優しいまち



子育てサークル
「たんぼほの会」
会長
伊藤 ゆかりさん

小さな町では周りに人が少なく子育てでも孤立しがちですが、たんぼほの会やにこにこ広場に行き始めてから同世代の知り合いも増えました。いろいろなお母さんとお会い、おしゃべりや親子で交流できる場があってとてもありがたいと感じます。

また、東栄町では子どもを連れていって知らない人でも声をかけてくれたり、近所の子どもたちが娘と遊んでくれたりと、地域のみんなで子どもをかわいがってくれます。

それから、任意予防接種の助成などもあり、そういった面でも子どもを育てるにはうれしい環境です。



健康づくり大学 ノルディックウォーキング



東栄小学校運動会

豊かな心身を育む

豊かな自然環境のなかでのびのびと学びながら、未来を担う子どもたちは健やかな心と体を育てています。学校教育では、少人数教育などの特色を活かしたきめ細やかな指導や、国際化社会でも対応できる人材育成のための英語教室や海外派遣事業を行っています。

また、いくつになっても学ぶことを楽しみ、心豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習講座やマラソン大会などのスポーツ活動を推進しています。



東栄マラソン



生涯学習講座



海外派遣事業

中学3年生全員が毎年カナダへ行き、学校での交流やホームステイを通して文化の違いなどを学びます。



町民体育祭

子どもからお年寄りまでが集い、スポーツの秋を満喫します。

自然と共生する

産業

◆林業

町の大部分を森林が占める東栄町では、古くから林業が盛んな町として栄えてきました。町の木でもあるスギやヒノキなどの針葉樹が多くよく育ちます。こうした恵まれた自然環境を守り、次世代に継承していくため、林業の担い手の育成や、間伐材の利用促進、丸太の芸術「チェンソーアート」による活性化などに取り組んでいます。



チェンソーアート

木の駅プロジェクト

放置された間伐材を木の駅に持ち込むと、地域通貨「オニ券」に交換され、搬出者は受け取った通貨を地域内の商店で利用します。山林再生と地域経済の活性化のみならず、「自分たちの手で山をなんとかする」という地域自治の仕組みとして注目されています。



◆鉱業

セリサイト(絹雲母)は、日本では唯一東栄町で産出される鉱物です。きめが細かく、純度の高い良質なセリサイトは三信鉱工で採掘精製され、主にファンデーションなどの化粧品原料として、国内外の化粧品メーカーで使用されています。





◆農業

澄んだ空気や清らかな水を活かして、野菜や米作りなどの農業が行なわれています。特に、食用の鶏を育てる養鶏業が盛んに行われており、農産物出荷額の大半を占める主要産業となっています。若鶏を加工した商品「東栄チキン」は柔らかくくせのない味わいが評判で、特産品のひとつとして長年親しまれています。また、気候を生かしてお茶の生産も行なわれており、深い味わいとほどよい渋みが特徴です。



地域資源を活かした活性化への取り組み

naori なおり

東栄町で採れるセリサイトを使った自分だけの手作りコスメ体験や、原産地の鉱山見学で化粧品原料のルーツを辿るビューティーツーリズムという新たなジャンルの事業を行い、「世界中に美を届けるまち」として発信しています。



体験場所は廃校を活用したのき山学校

山菜王国プロジェクト

山菜を使って新たなビジネスを起こそうと「とうえい山菜王国研究会」を立ち上げ、休耕地での山菜栽培方法の研究・調査、山菜を使った新たな特産品の開発やモニターツアーの開催などを行っています。



ふきを使った商品を開発

山の恵みが産んだ自慢の逸品

豊かな自然と昔ながらの技が作り上げた東栄町ならではの特産品。東栄町に来たら手に取って、味わってほしいこだわりの品々です。



シビエ料理



東風伝



東栄チキン



ハーブティ



東栄茶



五平餅



チェンソーアート



まゆ花



山ゆり羊かん

みんなで東栄町を盛り上げよう!
と思う絆や関係性が素晴らしいなって



絆

Interview 〈Uターン就職という選択〉

人と人との繋がりが 関係性の深さが地域の魅力

What?

Uターン就職

進学や就職の為に生まれ育った故郷から都市部へ移住した後、再び地元に戻って就職すること

サロンを開業したきっかけを教えてください。

2016年7月に主人の実家の敷地内に家建て、自宅で仕事ができるようにしました。以前は、豊橋市の美容サロンで働いていました。美容の仕事がすごく好きでずっと続けたいと思っており、結婚やマイホームを建てるタイミングの時に、上司から「東栄町でお店をやってみたら?」との進めもあり、自分の力でお店を開こうと思いました。

東栄町で仕事をすることに戸惑いや葛藤はなかったですか?

特にありませんでした。ライフスタイルの選択肢の1つとして地元に戻ることに抵抗はありませんでしたし、むしろ、自然の流れだったかなと思っています。自分の好きな美容の仕事が地元の東栄町でも出来る!というのが嬉しかったですね。

ここで仕事をする良さとは何ですか?

地域の人たちがすぐに受け入れてくれることが、この良さだと思います。私の実家と現在の住まいは少し離れた場所にあり、私自身ドキドキしていたのですが、ご近所さんたちが「若い人が来てくれて嬉しい」と喜んでくれたり、色んな地域の情報交換などしてもらえるので、住みやすいのはもちろん仕事もしやすいです。

佐々木さん自身、改めて感じる東栄町の魅力とは。

人と人との繋がりと、人柄が良いのが魅力です。近所付き合いや、新しい人でも受け入れてくれる懐の大きさなど、大人になって「東栄町はいい町だな」と改めて感じます。そして、若い人からお年寄りの人まで、みんなで東栄町を盛り上げようという絆が深いなと体感しています。お祭りやイベントも多く、地域みんなが積極的に参加をし、関係性を築いています。



佐々木 陽子さん
東栄町在住

中学生までは地元東栄町で暮らし、高校入学と同時に豊川市へ。美容の仕事に就くと同時に東栄町へ戻り、その後結婚を機に独立することを決意。現在、自宅でメナード代行店を開業し、地域に美の大切さを提案している。

林

Interview <一ターン就職という選択>

林業を通して、東栄町の良さを知る

インタビュー



自分のライフスタイルに合わせて
仕事ができるのが嬉しいです

What?

一ターン就職

就職の為出身地とは別の地方に移り住む事。特に都市部から田舎に移り住むことを指す。

林業をやりたいと思ったのはどんなきっかけ?

名古屋生まれ・名古屋育ちで、地元の材木屋に就職しました。木が好きだったこともあり、もっと木のことを深く知りたい、仕事にしたいと思うようになり、実際に樹木を伐採し生産する「林業」に就きたいと考えるようになりました。また、以前から田舎暮らしにも憧れていたもので、名古屋にある支援施設で、東栄町で林業を募集しているということを知り、東栄町に住んで林業で働こう!と決意しました。

東栄町には何度か訪れたことはあったのですか?

それが初めて来たのが、林業の就職面接の時です。その時まで、まったく東栄町を知りませんでした。初めて来たときに、自然がいっぱい良い場所だなと率直に思いました。実際に林業の仕事に就いて、自然に囲まれた仕事はとても楽しいと日々感じています。また、勤務時間が自由なので、ライフスタイルに合わせて働けるのが自分に合っていて。妻も働いていて共働き世帯なので、子育てする環境にもぴったりだなと感じています。



現在、町が支援している 空き家に住んでいるそうですが、 住み心地や環境などいかがですか?

とても良いですよ。夏場にバーベキューをやっても隣近所に迷惑かけずにできるのも嬉しいですし、何より子育てする環境に良いですね。家にヤギがいるので、自然と触れ合うことの大切さを子どもながらに感じていると思います。また、町民の方々が、野菜をくれたり色々な情報を交換したりと、とても優しく良い人ばかりです。これが東栄町の魅力のひとつかなと思っています。名古屋では絶対に味わえない、環境も人も「田舎らしさ」を存分に経験しています。



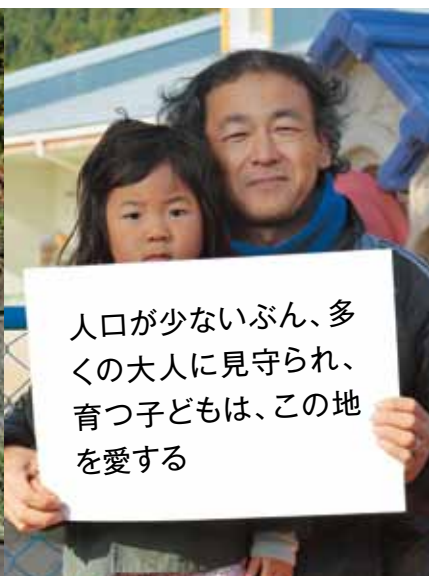
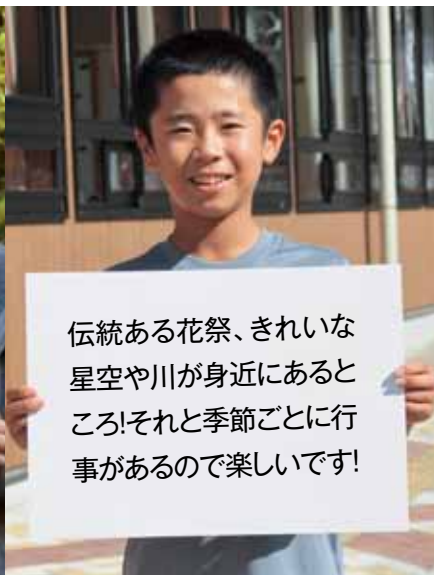
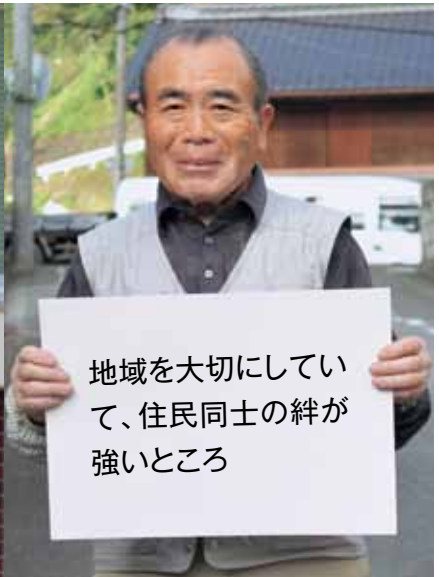
石黒 友浩さん

名古屋市出身、東栄町在住

名古屋の材木屋で働いていた石黒さん。「林業をやりたい」と名古屋の支援施設に相談をし、東栄町で林業募集を紹介してもらい就職。現在、奥様とお子さま、ヤギ&犬と一緒に、念願の林業仕事と田舎暮らしを満喫。



東栄町の魅力は？



幸せを実感できる最先端の 田舎をめざして

自然と伝統が息づく小さな過疎のまち東栄町では、住民同士が互いに助け合いながら支え合って暮らしています。こうした暮らしを次世代に繋ぐため、地域の資源にさらに磨きをかけ、協働・共助のもと、町民みんなが幸せを実感できるまちを育んでいきます。

1 支えあう健康福祉のまちづくり

いつまでも住み慣れた地域で健康な生活を送ることができるように保健・医療・福祉が連携して健康づくりを支えます。また、子どもを産み、育てたいと思えるように子育て支援を充実させ、地域で互いに支え合うことができる健康福祉のまちづくりをめざします。



2 豊かな文化と心を育むまちづくり

将来、子どもたちが町内外で活躍できる人となるように、学校教育をはじめ、生涯学習、生涯スポーツ、国際交流などの充実をめざします。また、伝統や文化の伝承などを通じて、豊かな文化と心を育むまちづくりをめざします。



3 安全・安心に暮らせるまちづくり

地震対策や防火対策などを強化し、災害や火災からの被害を最小限に抑えるとともに、防災、消防・救急、交通安全・防犯対策の強化に努め、自助、共助、公助の役割分担のもと、だれもが安全・安心に暮らせるまちづくりをめざします。



4 環境と暮らすまちづくり

森林や河川などの豊かな自然環境の保全や耕作放棄地の解消を図り、田舎の風景を守るとともに、ごみの減量化や資源分別、新エネルギーの活用など、環境への負荷を最大限に抑えた生活を指向する環境と暮らすまちづくりをめざします。



5 活力のあるまちづくり

農業、林業、商工業、観光の振興を図るとともに、各産業間の連携や付加価値の向上に取り組み、新たな産業や雇用が創造される活力のあるまちづくりをめざします。



6 定住・交流を支えるまちづくり

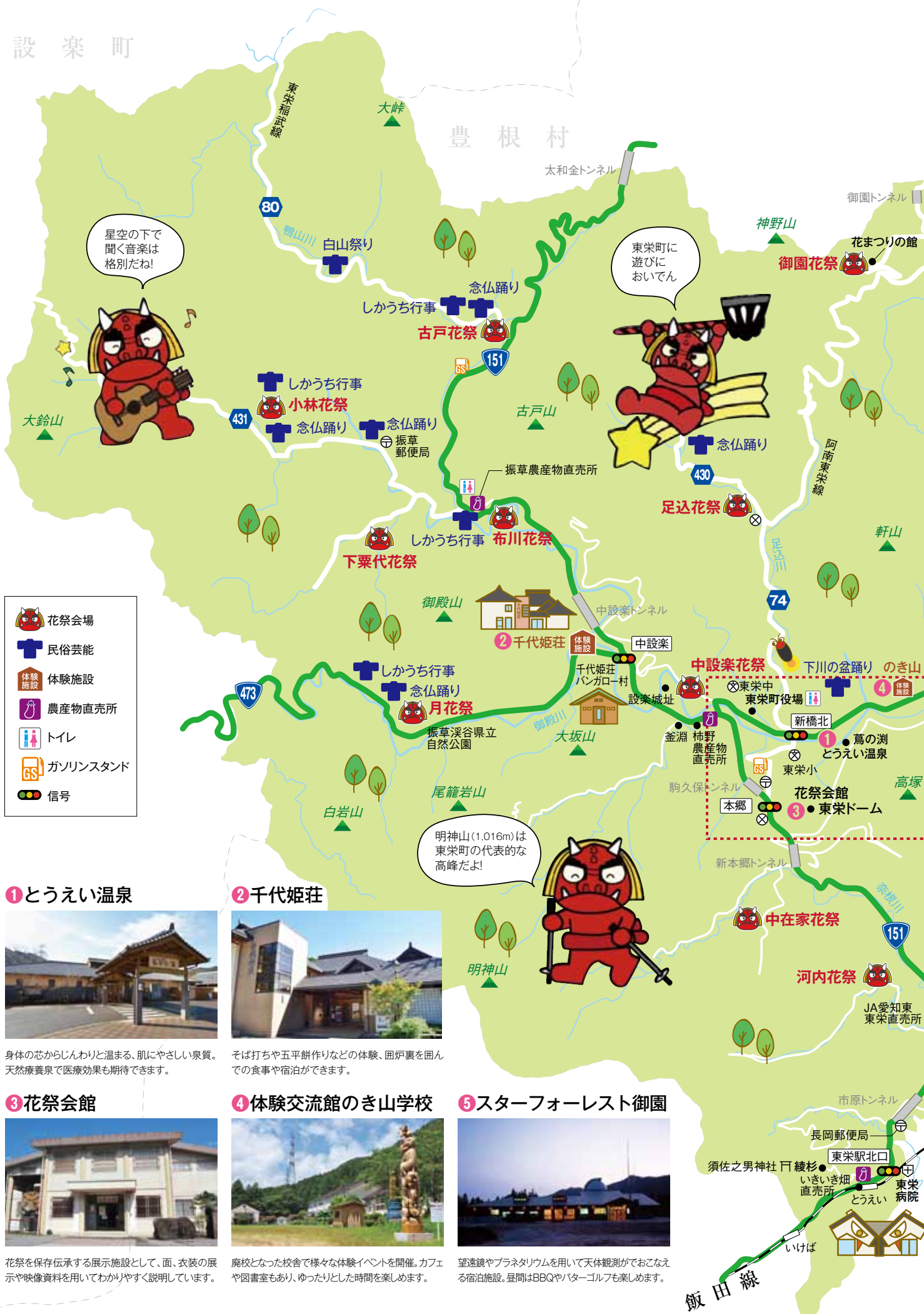
より快適な暮らしを実現できる良好な住環境や道路の整備、公共交通機関の充実を図るとともに、若者等が住みたいと思えるように町の魅力を発信し、様々な世代間の交流の促進を図るなど、移住・定住・交流を支えるまちづくりをめざします。



7 協働によるまちづくり

様々な地域課題や多様化する公共サービスに対応するため、住民主体の考えのもと、町民等によるボランティア活動の促進、地域によるまちづくり活動の促進を図りながら、住民と行政の協働のまちづくりをめざします。





- 花祭会場
- 民俗芸能
- 体験施設
- 農産物直売所
- トイレ
- ガソリンスタンド
- 信号

① とうえい温泉



身体の芯からじんわりと温まる、肌にやさしい泉質。天然療養泉で医療効果も期待できます。

② 千代姫荘



そば打ちや五平餅作りなどの体験、囲炉裏を囲んでの食事や宿泊ができます。

③ 花祭会館



花祭を保存伝承する展示施設として、面、衣装の展示や映像資料を用いてわかりやすく説明しています。

④ 体験交流館のき山学校



廃校となった校舎で様々な体験イベントを開催。カフェや図書室もあり、ゆったりとした時間を楽しめます。

⑤ スターフォーレスト御園



望遠鏡やプラネタリウムを用いて天体観測がおこなえる宿泊施設。昼間はBBQやバナーゴルフも楽しめます。

東栄町 TOEI MAP イラストマップ



浜松市

東栄町市街地拡大MAP



どうえい温泉で
ゆっくりしてね

EVENT

チェーンソーアート競技大会
5月下旬(東栄ドーム)



日本では東栄町が発祥の地とされるチェーンソーアート。1本の丸太からチェーンソーだけを駆使してダイナミックかつスピーディーに繊細な作品を彫り上げる様子は見ものです。

星空おんがく祭

9月初旬(東栄町野球場)



星空と森に囲まれたロケーションで、町内有志バンドやプロアーティストの演奏、様々な出店が楽しめます。音楽と自然をテーマに、参加者全員で創り上げるイベントです。

東栄フェスティバル

11月3日(東栄ドーム)



花祭シーズン直前に開催される東栄町最大のイベント。花祭の実演やチェーンソーアートの実演、特産品の販売などが行われ、地域の伝統やグルメが1日で思う存分満喫できます。

和太鼓「絆」プロジェクト

3月下旬(東栄ドーム)



愛知県内の高校和太鼓部員が一堂に会し、「志多ら」とともに躍動感ある和太鼓の演奏を通じて、「いぎるとは命を輝かせること」を未来あるすべての人たちに伝えます。

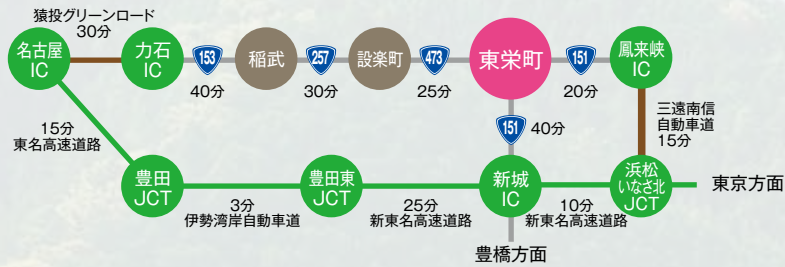
和太鼓集団「志多ら」



東栄町を拠点として和太鼓・篠笛を中心に演奏活動をするプロの和太鼓集団。全国ツアー、海外ツアーや各地イベントなどに出演し、力強い生命の音を各地に届けています。



ACCESS



【東栄町憲章】(昭和40年11月3日 文化の日制定)

わたしたち東栄町民は心をあわせて

1. 教養を高め文化の町をつくりましょう。
1. よく働いて豊かなくらしをきずきましよう。
1. きまりを守って明るい町をつくりましょう。
1. 家庭を明るくして健全な青少年を育てましよう。
1. 山・川・道路を愛して環境を美しくましよう。



【町章】

形は、亀(末永く栄える)の甲羅をかたどり、外輪と6つの角は、6ヵ町村合併とその融和を象徴し、全体は東または栄の字を図案化したものです。

円内の山形は、山の町を表し、その高さが中心よりやや高くなっているのは秀でた町となることの意を持っています。(昭和32年2月6日制定)

【町の花】 やまゆり



【町の木】 杉



【町の鳥】 うぐいす



東栄町役場

〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25番地
TEL (0536) 76-0501 FAX (0536) 76-1725 <http://www.town.toei.aichi.jp>